

むらさきっ子のはじまり

しろうさぎのくみ　☺☺　☺☺☺

☺は末っ子、4月産まれということもあり、4年保育で入園。入園式は案の定大泣き！式の後私と一緒に遊びたい！と三輪車に乗ったり、ブランコをしたり、そしてキッシーにぶら下がった所で手がすべり落ちて頭を打つという始末。小田先生が濡らしたタオルを持ってきてくれたのですが〝いらない〟と拒否、帰り際に「また明日ね～」と声をかけられ「この人、何を言ってるんだろう？」とキョトンとした様子、想定内の1日でしたが不安な思いを沢山した1日で、☺のむらさきっ子スタートでした。

朝バスに乗る時は大泣きでバスを見送る私の心はキュッとなりました。園に着いてからもずっと泣いていたようで部屋に入るのもコップやタオルを出してかけるのも嫌がり、おまけにうっかり水筒を持たすのを忘れてしまった私（汗）ずっと泣いて汗だくで水分も気にして下さり園からお茶を飲ませようにも拒否、ついに園から電話をもらい迎えに行くことになり、次の日から朝はバス、帰りは迎えに行くスタイルになりました。

毎朝バスを待っている間、☺はまゆ毛を八の字にして「迎えにきてなー、迎えにきてなー」と念仏のように、私も「うん、わかったよ、行くね」という言葉のやりとり。今思うと懐かしく思いますが、バスを待っている間のドキドキした気持ちを和らげるための呪文のようでした。

むらさき幼稚園のステキな所の1つに季節の木の実を味わえる！というものがあります。幸運にも☺は大の食いしん坊！さくらんぼから始まり桑の実、グミの実を黒いのが美味しいよ～、赤のが美味しいよ～と教えてもらい美味しそうな実を自分で探したり、時には先生や年長さんに採ってもらったりと楽しみの時間に出会えたようです。早バスの子たちが帰る用意を始めると「☺も用意するー」と早くからバスプールでリュックを背負って私を待っている姿は健気で頑張って耐えているといった様子です。と教えてもらいました。そんな中でも先生は少しでも☺の好きな時間を…と考えて下さり、虫好きの☺（触るのは怖いけど好きだそうです）とだんごむしや幼虫、バッタ等一緒に探してくれたり、ダイナミックに水遊びをするお友達を見てやりたくなったり、水溜まりたっぷりのブランコは魅力的で靴が少し濡れたのをきっかけに「も～いいや～」とじゃぶじゃぶ遊び始めお友達と一緒に目一杯遊んだことも あったようです。興味のあることに少しふれることで☺の世界が少しずつ少しずつ広がっていったように思います。小さな体と心で色んなことを感じ葛藤する中で育まれるものは大きかったと思います。行事のたびにドキドキしていつも小田先生の隣にピタリとくっついて、緊張で顔がひきつったり涙も沢山流れたけれど小田先生を頼りに抱っこしてもらい安心すると遊び始めるようになり1年を通して生活力と逞しさが育ってきたなぁと感じました。

そして2度目の春を迎えました。去年1年の成長がリセットされたかのように入園式では泣いていましたが、担任の先生もクラスのお友達も変わり☺なりに環境の変化を感じていたんだと思います。ドキドキしながらも大好きな虫を探しては牛乳パックへ…。だんごむしからスタートしてんとう虫、バッタ、かまきり、ついにはかえるをさがす!!とグレードアップし、毎日牛乳パックを開けるのにドキドキしていた私でした。虫を通して先生やお友達と関わって過ごしていたある日「幼稚園行きたくない、楽しくないし」と言うようになりました。同じクラスの子は入園したばかりの子が多く☺の遊びとは合わず、かといって去年同じクラスだった子たちがいるもものくみには行かず。悶々とした日を過ごしていました。そしてむらさき幼稚園のステキな所のもう1つに、他学年との関わりがあります。☺は職員室で前同じクラスだった子とひょんなことから遊びだしとても楽しかったようでそれを機に☺の中で何かが変わったのか、もものくみやそらのくみに行って遊ぶことができ工作をしたり折り紙をしたり遊びの幅も広がっていきました。そして何よりも刺激があったのが今までにいないパワフルな○くんと工作が得意な△くん。○くんとはケンカは耐えないようで、思い通りにはいかないことが多々ありながらも一緒に遊ぶ楽しさも味わっているようです。△くんはとても作る発想が魅力的で☺も同じように作りたい～と真似てみたりその時間を楽しんでいるようです。クラスメイトの関わりがどんどん広がっているようでとても嬉しく感じています。

今、☺のまわりには沢山のお友達や先生がいます。一緒に遊んでいなくても☺にとってどの人も大切な人だなぁと感じています。☺が今ここまで育ち成長してこれたのは☺本人の育つ力、乗り越える力があったと信じていますが、その芽を出せたのはみなさんが居いてくれたからだと感謝しています。

これからもみなさんと、そして今の子どもの姿を大切にやさしいまなざしで見守れればと願いを込めて。

